

事務事業名 北海道難病連運営事業助成金

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	1	市民の主体的な健康づくり意識の確立
小分類	1	健康づくり運動の推進
主要な施策	3	健康づくり情報と機会の充実
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	難病患者とその家族の社会的自立活動を推進し、福祉の向上・増進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>難病問題の社会的啓蒙と難病に関する正しい知識の普及啓発活動を行っている財団法人北海道難病連に対して助成を行う。</p> <p>【財団法人北海道難病連の主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難病患者や家族への療育指導及び相談活動</li> <li>・難病患者等の各団体の育成援助</li> <li>・難病に関する調査研究 など</li> </ul>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	継続的に、難病問題の社会的啓蒙と難病についての正しい知識の普及啓発を行うことにより、難病患者とその家族の福祉の増進が図られることから、今後も当事業は継続する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	53	53	53	53	53
事業費 合計			53	53	53	53	53

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	相談援助人数	人	目標値	1,000	1,250	1,250	1,250	1,250
			実績値	1,248	1,276			
	医療講演会の開催	回	目標値	25	30	10	10	10
			実績値	22	10			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
財団法人北海道難病連に対して助成を行う。	助成を継続する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 難病患者の社会的自立活動を推進するため、難病各団体の育成、医療、福祉及び生活全般についての相談について応じて療育指導を行っており、また難病問題の社会的啓蒙と難病についての正しい知識の普及啓発を行い、難病患者と家族の福祉の増進を図っている。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 広く道民に対し、難病問題の社会的啓蒙と難病についての正しい知識の普及啓発を行うことにより、難病患者とその家族の福祉の増進を図っている。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 この財団法人の運営には、北海道や他市町村も助成している。また助成金の額は人口一人当たり1円となっているので、これ以上の削減は難しい。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 継続的に、難病問題の社会的啓蒙と難病についての正しい知識の普及啓発を行うことにより、難病患者とその家族の福祉の増進を図る。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	難病患者及びその家族の社会的自立や精神的、身体的、経済的負担的の軽減を図るための活動に対する助成金交付であることから、今後継続的な支援をしていく。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----